



固定資産税二期分 8月31日 納期をお忘れなく

# 伸びんが爲の尺とり政策

## 赤字克服に緊縮予算

田邊町長 北川楯太郎

「町政だより」の発行が遅れまし、の事情を取りまてお話しするに、町民の皆さんに対し誠意を込めてお話しするに相成りました次第、よろしくご理解をお願いします。

普通発行回数から見て、この際も申上げねばならないのは、昭和三十一年度の予算であります。この予算は三月町会において慎重審議の上可決されたものであります。この予算の編成方針を、最初に申し上げたいと思ふ。

### 健全財政の堅持

一、この予算編成の根本は、あく健全財政の堅持にあり、

二、右の方針で編成されました結果、歳入の合計額は五千三百七十一万四千円、歳出は五千三百七十一万四千円、



田邊町長 北川楯太郎

# 自由財政再建計画近く公表

## 30年度實質赤字見込額215万円

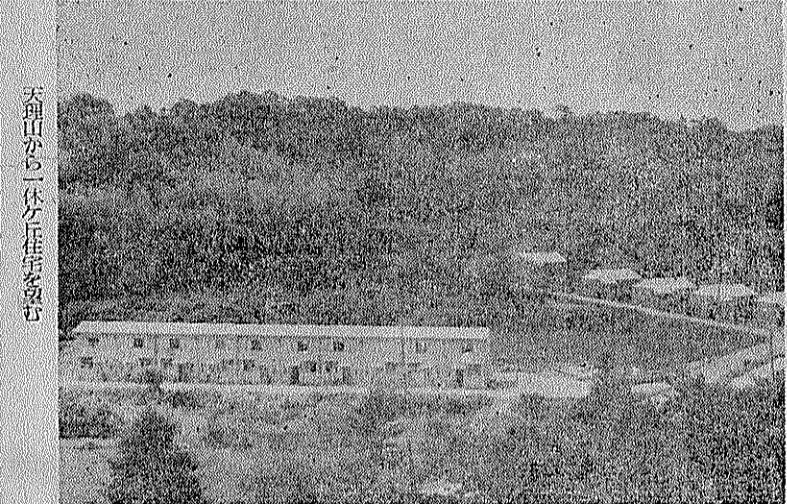
一、この予算編成の根本は、あく健全財政の堅持にあり、

二、右の方針で編成されました結果、歳入の合計額は五千三百七十一万四千円、歳出は五千三百七十一万四千円、

### 一休ヶ丘住宅完成

三十二年度、本町特別会計で建設中の一休ヶ丘住宅五十三戸が、このほど完成しました。その結果、現在までに出来上がった公営住宅は次のとおりです。

木造第一 一五 六五 八〇  
木造第二 一五 五五 七〇  
木造第三 一五 一四 一八〇  
木造第四 一五 一四 一八〇  
木造第五 一五 一四 一八〇  
木造第六 一五 一四 一八〇  
木造第七 一五 一四 一八〇  
木造第八 一五 一四 一八〇  
木造第九 一五 一四 一八〇  
木造第十 一五 一四 一八〇



天理山から一休ヶ丘住宅を望む

七、上記のごとく緊縮支出のみならず、

八、町会費の徴収に努め、

九、町民各位の協力をお願いいたします。

六、次に災害復旧事業につきましては、

七、

八、

九、

### 31年度現計予算 (6月末現在)

一般会計の部	
歳入	34,620,600
1 町地使国府寄附金	9,828,000
2 地方交付金	16,709,332
3 手数料	489,250
4 手数料	580,000
5 手数料	1,480,000
6 手数料	133,245
7 手数料	101,000
8 手数料	1,750,000
9 手数料	66,250,427
10 手数料	
歳入合計	66,250,427
歳出	872,100
1 歳出	10,157,250
2 歳出	2,470,300
3 歳出	5,599,050
4 歳出	10,999,200
5 歳出	4,583,200
6 歳出	974,200
7 歳出	4,004,100
8 歳出	473,000
9 歳出	290,830
10 歳出	186,760
11 歳出	4,989,800
12 歳出	5,073,176
13 歳出	2,612,587
14 歳出	430,874
15 歳出	12,534,000
16 歳出	66,250,427
歳出合計	66,250,427
特別会計の部	
歳入	6,000,000
1 歳入	2,522,000
2 歳入	1,705,006
3 歳入	1,000
4 歳入	2,400,000
5 歳入	12,628,006
歳入合計	12,628,006
歳出	11,060,000
1 歳出	677,000
2 歳出	791,006
3 歳出	100,000
4 歳出	12,628,006
歳出合計	12,628,006

### 解説

去る第二十四回常任委員会において通過した自治法改正案は、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

### 常任委員会は四部門に整理

去る第二十四回常任委員会において通過した自治法改正案は、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

### 日照りつつき 火の用心

日照りつつき、火の用心。昨今の日照りつつきと、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

### 町台所うるおう

町台所うるおう。本紙第十五号で公表しました、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

### 日照りつつき 火の用心

日照りつつき、火の用心。昨今の日照りつつきと、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

### 町台所うるおう

町台所うるおう。本紙第十五号で公表しました、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

去る八月、町が募集した中学生生徒の「町を愛する作文」は、多数寄せられました。その中、成田優子さんの作品「別荘」が佳作として、ほかの佳作四篇と併せて、生徒会が校庭に集まっている中で、校長先生から賞状と賞品が授けられました。

### 秀作「明るい町は納税から」

#### 二年生成田さんに輝く

「明るい町は納税から」といわれています。私は町税と納税から町を愛する作文を募集したので、町税と納税の関係を述べ、明るい町になるためには、町民が納税を怠らないで、積極的に納税をすることだ、と述べています。町税の納付は、町民の義務であり、町を愛する心から納税することは、町を良くするための大切なことです。成田優子さんの作文は、この考えをよく表現しています。町税の納付は、町を愛する心から行われるべきだと述べています。

「明るい町は納税から」  
二年B組 坂本早苗  
私は町税と納税の関係を述べ、明るい町になるためには、町民が納税を怠らないで、積極的に納税をすることだ、と述べています。町税の納付は、町民の義務であり、町を愛する心から納税することは、町を良くするための大切なことです。成田優子さんの作文は、この考えをよく表現しています。町税の納付は、町を愛する心から行われるべきだと述べています。

### 地代家賃統制令 一部かわる

このたびの地代家賃統制令の一部改正は、四月十九日法律第七十七号をもって公布され、七月一日から施行されています。この改正には、町民の生活を考慮し、一部の家賃に減額の特典が設けられました。また、借家の修繕費の負担割合も変更されています。この改正は、町民の生活に大きな影響を及ぼすものと考えています。

### 盛上る組織の力で

この世の中に、蚊とハエの全滅が、町民の生活に大きな影響を及ぼします。町民の生活を守るためには、組織の力で蚊とハエを駆除する必要があります。町民一人ひとりが参加し、協力して蚊とハエを駆除することで、町を清潔に保つことができます。町民の協力は、蚊とハエを駆除するために不可欠です。



### 蚊とハエのいない町づくり

蚊とハエは、町民の生活に大きな影響を及ぼします。町民の生活を守るためには、組織の力で蚊とハエを駆除する必要があります。町民一人ひとりが参加し、協力して蚊とハエを駆除することで、町を清潔に保つことができます。町民の協力は、蚊とハエを駆除するために不可欠です。

### 古い写真提供

本町では、古い時代の町民生活の姿を伝えるため、古い写真の提供を呼びかけています。町民から提供された古い写真は、町の歴史を伝える貴重な資料となります。古い写真の提供は、町の歴史を伝えるために不可欠です。

町政だより 第16号  
町民生活の向上を目指して、様々な事業を実施しています。また、町民の生活をサポートするための様々なサービスを提供しています。町民の生活の向上を目指して、様々な事業を実施しています。

町民生活の向上を目指して、様々な事業を実施しています。また、町民の生活をサポートするための様々なサービスを提供しています。町民の生活の向上を目指して、様々な事業を実施しています。

### 田邊郷土史会

郷土史の調査と研究  
町内の歴史を調査し、研究するために、郷土史会が発足しました。郷土史の調査と研究は、町の歴史を伝えるために不可欠です。郷土史の調査と研究は、町の歴史を伝えるために不可欠です。

町民生活の向上を目指して、様々な事業を実施しています。また、町民の生活をサポートするための様々なサービスを提供しています。町民の生活の向上を目指して、様々な事業を実施しています。

### 八月高温・九月低温か

気象予報  
八月は高温、九月は低温か、と予報されています。町民の生活を守るためには、適切な対策を講じる必要があります。八月は高温、九月は低温か、と予報されています。

町民生活の向上を目指して、様々な事業を実施しています。また、町民の生活をサポートするための様々なサービスを提供しています。町民の生活の向上を目指して、様々な事業を実施しています。

### 三十一年度中に どんな事業が

河川名	位置	工事内容	概算費用
大田川	大田川町界	延長一五〇〇米	三九〇〇〇〇円
田川	田川町界	延長五〇〇米	一七〇〇〇〇円
田川	田川町界	延長三〇〇米	一七〇〇〇〇円

### 町内各所

河川名	位置	工事内容	概算費用
大田川	大田川町界	延長一五〇〇米	三九〇〇〇〇円
田川	田川町界	延長五〇〇米	一七〇〇〇〇円
田川	田川町界	延長三〇〇米	一七〇〇〇〇円



# 田邊地区 建設工事でテンヤワンヤ

## 今秋から水道、排水ポンプ工事

今秋から来春にかけて水道工事の本格化することから西部土地改良区の排水ポンプ場の新設とこれに伴う排水路、排水路の掘削、あるいは別項の西浜橋の改築、府道排水路水口線の一部舗装、天神川水路橋の改修等々の工事が次々早やりに行われ、今秋は田邊地区はこれら建設工事でテンヤワンヤになりそうです。この期間にはあるいは通行止めや、何かと附近住民のみなさんには迷惑をかけると思いますが、町をよりよくするための一時的な不便は、みなさんのおおらかな気分でのんきにたまたまたいと思えます。

# 水道計画着々進む

田邊町大字田、大字河原を区域とした。これが工事については、一とずる水道敷設事業の諸計画は順次進め、まよやく軌道に乗りました。格別努力を要するものと思われ、当初予定の給水開始時における四百五十戸(官公署、公営住宅を含む)の加入は確保となり、一方簡易水道敷設に對するもの認可も、区排水ポンプ増設計画第一期工事がこのほど田邊地区間、大字田まで進めば当初計画の、来年夏には完全給水が得られるものと思われ、設計準備中であり、

# 西濱に排水ポンプ場

が、この計画の遂行に土地改良区が排水ポンプ増設計画第一期工事をこのほど田邊地区間、大字田まで進めば当初計画の、来年夏には完全給水が得られるものと思われ、設計準備中であり、

# 田邊町役職員名簿

三、八、一 敬称略

- 町会議長 草内 古川 利治 経済
- 町会副議長 三山木 保田 信雄 総務
- 町会議員(議席順) 北川 朝三 経済
- 三山木 北川 康太郎 総務副議長
- 三山木 藤本 菊松 建設委員
- 中村 修 建設
- 大任 橋本 岩松 経済委員長
- 町会議員 草内 出島 良蔵 文教員生委
- 三山木 保田 信雄 委員、監査
- 北川 朝三 委員
- 大任 井上 義一 建設副議長
- 三山木 藤本 菊松 建設委員長
- 田邊 西村 道夫 文教員生副委員長
- 町会議員 草内 北村 和雄 経済
- 田邊 小西 源吉 経済副議長
- 田邊 中村 誠一 建設
- 大任 沢井 末三 経済
- 田邊 里村 幹造 文教員生
- 草内 上村 金四郎 委員
- 田邊 西村 道夫 委員
- 大任 小山 義次 文教員生

- 草内 奥西 三雄 建設
- 大任 藤田 兵次郎 総務
- 三山木 堀 伊之次 文教員生
- 田邊 池水 五郎 建設
- 普賢寺 藤林 徳治 建設
- 教育委員会 田邊 國田 兼次 委員長
- 普賢寺 伊東 義純 委員
- 三山木 川嶋 正男 委員
- 堀 伊之次 委員、職選出委員
- 代理者、職選出委員
- 固定資産評価審査委員会 普賢寺 田中 啓三 委員長
- 田邊 香村 孝次郎 委員
- 大任 安倉 貞三 委員
- 監査委員会 草内 出島 良蔵 議選出委員
- 大任 沢井 末三 委員
- 公平委員会 田邊 村田 太平 委員長
- 普賢寺 三神 榮昇 委員
- 三山木 村上 昭房 委員
- 選挙管理委員会 田邊 南 由治郎 委員長
- 三山木 保田 丑之助 委員
- 普賢寺 久保 千代太郎 委員
- 民生委員会 草内 岡島 辰郎 常務委員
- 田邊 上村 新三 副常務委員
- 池水 五郎 委員
- 前田 義子 委員
- 下村 定次郎 委員
- 西川 亦三 委員
- 大田 己代 委員
- 西村 武夫 委員
- 森村 美千代 委員
- 北尾 茂 委員
- 大任 古林 文次 副常務委員
- 井上 重治 委員
- 吉本 良子 委員
- 藤本 勇 委員
- 岡本 春三 委員
- 小島 協 委員
- 草内 上村 金四郎 委員
- 井上 重治 委員

- 三山木 高橋 重美 副常務委員
- 森 茂 委員
- 木村 よし江 委員
- 田中 首五郎 委員
- 杉本 邦兵衛 委員
- 林 ハルノ 委員
- 普賢寺 南 正夫 副常務委員
- 田中 寛代 委員
- 奥西 佐蔵 委員
- 片山 三郎 委員
- 中川 三郎 委員
- 田邊 西川 亦三 会長兼地区代表
- 北尾 正夫 副会長
- 竹村 弥太郎 地区代表
- 高村 幸太郎 委員
- 小林 蔵 委員
- 柳原 時造 委員
- 加藤 知二 委員
- 村山 米蔵 委員
- 中尾 新一郎 委員
- 木口 喜郎 委員
- 竹村 治 委員
- 西川 源次 委員
- 西川 久三 委員
- 木口 喜代次 委員
- 片岡 信太郎 委員
- 寺本 勝次 委員
- 村上 清太郎 委員
- 西村 市三 委員
- 河村 昌三 委員
- 大任 上田 勉 会長兼地区代表
- 森 嘉一郎 副会長兼地区代表
- 岡本 登三 副会長
- 吉川 敬一 委員
- 藤本 勇 委員
- 岩本 清次 委員
- 石坂 末吉 委員
- 芝高 明 委員
- 小山 政雄 委員
- 堀 作司 委員
- 堀口 茂盛 委員
- 前川 義治 委員

- 吉村 芳三 委員
- 岡本 次郎 委員
- 前川 清一 委員
- 松本 喜三郎 委員
- 西村 三郎 委員
- 宮西 次郎 委員
- 草内 水繁三 会長兼地区代表
- 山岡 善二 副会長
- 岡井 重雄 委員
- 山岡 元次 委員
- 奥西 伊一郎 委員
- 出島 宇太郎 委員
- 出島 重一 委員
- 出島 稔 委員
- 上村 平治 委員
- 上村 弥太郎 委員
- 山岡 勇蔵 委員
- 今村 庄三郎 委員
- 奥西 幸夫 委員
- 三山木 農業者委員会 三山木 木村 宗太郎 会長
- 今中 久男 副会長
- 木元 熊三郎 委員兼地区代表
- 西尾 吾郎 委員
- 村上 光蔵 委員
- 櫻村 晴二 委員
- 森 新吾 委員
- 今村 敏次郎 委員
- 保田 信雄 委員
- 北川 竹長 委員
- 岡本 竹次郎 委員
- 北村 信次郎 委員
- 藤本 菊松 委員
- 普賢寺 農業者委員会 普賢寺 伊東 義純 会長
- 高橋 貞幹 副会長兼地区代表
- 松井 彦太郎 委員
- 田邊 昌四郎 委員
- 中川 三郎 委員
- 向井 庄三郎 委員
- 大村 元治 委員
- 南 正 委員

- 大谷 正一 委員
- 森島 栄太郎 委員
- 清水 平次 委員
- 新敏一 委員
- 井上 高吉 委員
- 中富 正文 委員
- 久保 千代太郎 委員
- 新利一 委員
- 田邊 安岡 重信 委員
- 村田 隆衛 委員
- 興戸 寺本 幸男 委員
- 河原 西村 元吉 委員
- 松井 前川 義治 委員
- 西八 藤本 勇 委員
- 東林 小田 秀一 委員
- 岡村 小山 政雄 委員
- 三野 岡本 与一 委員
- 岡屋 青川 敬一 委員
- 東 古川 文吾 委員
- 草内 山岡 善一 委員
- 飯岡 大辻 龜夫 委員
- 三山木 保田 丑之助 委員
- 二又 堀 伊之次 委員
- 高木 中山 弥太郎 委員
- 出田内 木村 久一 委員
- 南山西 北村 信次郎 委員
- 南山西 岡本 竹次郎 委員
- 山崎 中川 幸一 委員
- 江津 沢田 米蔵 委員
- 写口 木元 文雄 委員
- 多々羅 大谷 辰太郎 委員
- 普賢寺 田邊 辰次郎 委員
- 水取 大富 清次 委員
- 天主 中西 政一 委員
- 高船 岡田 明治 委員
- 打田 大西 新一郎 委員
- 田邊 桐山 徳重 会長
- 大任 藤本 勇 副会長
- 田邊 村田 富子 委員
- 三山木 藤本 末吉 団長
- 田邊 大崎 新造 副団長
- 普賢寺 下井 清 副団長
- 田邊 竹村 健一 第一分団長
- 大任 西川 一夫 第二分団長
- 草内 奥西 説明 第三分団長

- 三山木 北川 史郎 第四分団
- 普賢寺 片山 正男 第五分団
- 農業協同組合・農業共済組合 田邊 川添 精一 会長
- 大任 上田 勉 委員
- 草内 今村 庄三郎 委員
- 三山木 上田 美代松 委員
- 普賢寺 伊東 義純 委員
- 三山木 徳田 康二 青年団連絡協議会長
- 田邊 市川 忠二 副会長
- 田邊 北川 仁二 委員
- 田邊 北尾 敬治 委員
- 大任 前川 清一 委員
- 草内 出島 良蔵 委員
- 三山木 田中 首五郎 委員
- 三山木 川島 正男 委員
- 普賢寺 伊東 義純 委員
- 人権よう慶委員 田邊 北川 仁二 委員
- 町医・校医 田邊 西村 道夫 町医中学校
- 田邊 芳野 滋 小学校校医
- 大任 沢井 公雄 委員
- 草内 谷村 実 委員
- 三山木 井上 拙次 町医
- 普賢寺 河村 源次 町医
- 田邊 松原 康太郎 中小診療科
- 大任 奥野 博男 小学校診療科
- 草内 三山木 普賢寺 川島 正男 小学校診療科

- 田邊 北川 久蔵 小学校教員
- 大任 守岡 芳繁 委員
- 草内 越島 清 委員
- 三山木 村井 博 委員
- 普賢寺 井上 泰造 委員
- 大任 森 嘉一郎 田邊高等技芸学院青年会長
- 田邊 國田 兼次 会長
- 田邊 市川 忠二 委員
- 田邊 北川 仁二 委員
- 田邊 北尾 敬治 委員
- 大任 前川 清一 委員
- 草内 出島 良蔵 委員
- 三山木 田中 首五郎 委員
- 三山木 川島 正男 委員
- 普賢寺 伊東 義純 委員
- 一路会 田邊 西川 久栄 会長
- 大任 西川 光江 委員
- 草内 森村 与久 委員
- 普賢寺 辻尾 進子 委員
- 農業改良普及員 田邊 大任 委員
- 岡本 登三 駐在員
- 三山木 普賢寺 河原 實夫 駐在員
- 草内 今村 順一 駐在員